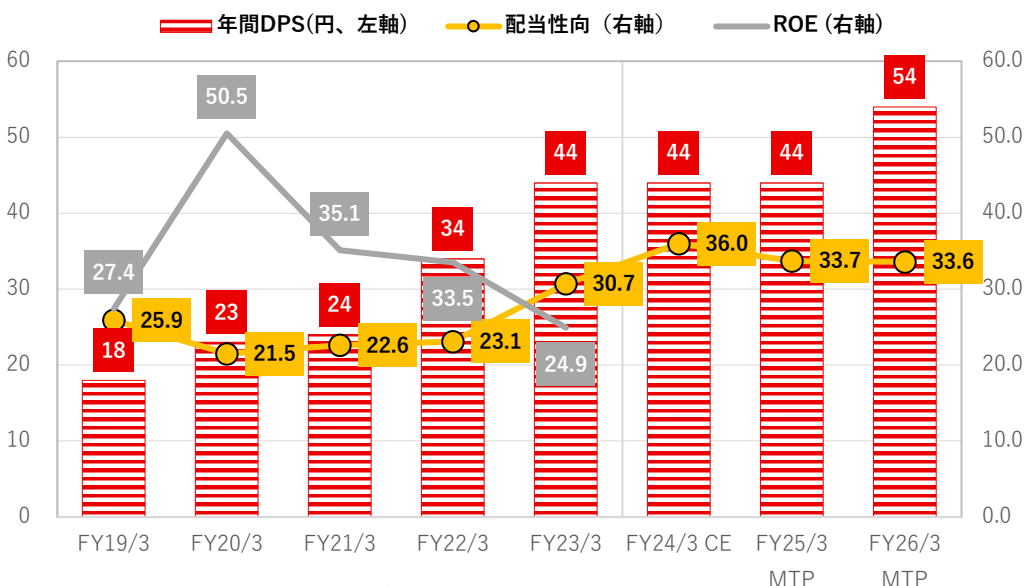


国内 Working事業の再成長が最優先課題に 建設技術者領域の上期進捗が好調

SUMMARY

- ▼ ウィルグループは今年5月、新中期経営計画「WILL-being 2026」を発表した。前中計「WORK SHIFT戦略」の狙いは、専門性の高い分野で利益率の高い人材派遣、人材紹介の比重を高めて利益率を押し上げることであり、戦略投資領域として介護、建設技術者、スタートアップ企業の人事支援などの育成に注力した。前中計において、利益率は改善したものの、国内Working事業が停滞した。新中計の最優先課題は、伸び悩む国内Working事業の再成長であり、建設技術者事業の黒字化、正社員派遣と外国人管理受託の拡大に注力する。
- ▼ 従来の利益配分方針は、配当と自己株式取得を含めたトータル・リターン方式を採用し、総還元性向30%を目標としていた。新中期経営計画「WILL-being 2026」では、国内事業の自律的な再成長に向けて戦略的に販管費35億円を増額し、加えてM&Aに100億円投入するため最初の2年間は減益を織り込んでいる。そのため、新しい株主還元方針には、総還元性向30%以上に加えて「累進」配当（減配をせず、維持または増配を行う）を組み込んだ。
- ▼ 新中期経営計画には初めの2年間に先行投資が織り込まれているが、M&Aは含まれていない。しかし、前中計で財務体質の改善ができたことで、新中計では100億円の投資枠を設定している。ウィルグループは、タイムリーで収益性の高いM&Aの機会を見極め、高成長を達成してきた実績がある。また、池田会長の資産管理事務所が5月の新中期経営計画発表に先立ち、出資比率を高めている。現在の同社株のバリュエーションはそれぞれの過去平均に比べ、PBRは24%下、EV/EBITDAは14%下、配当利回りは21%上の水準にある。現在の4.07%の配当利回りには、次の成長カタリストを待つだけの投資価値があるとSIRは考える。

新・株主還元方針：「累進配当、且つ総還元性向30%以上」



出所：同社中期経営計画説明資料および決算短信よりSIR作成

2Q Follow-up



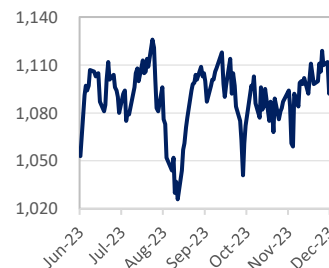
注目点：

高い成長力を持つ人材サービス企業。携帯電話売場、コールセンター、食品工場、介護、建設技術者、スタートアップ企業人材支援などの分野に強みを発揮。海外ではオーストラリア、シンガポール等で展開。

主要指標

株価 (12/12)	1,105
年初来高値 (1/24)	1,260
年初来安値 (5/31)	1,002
10年間高値 (18/2/2)	2,139
10年間安値 (14/5/21)	183.6
発行済株式数(百万株)	22.944
時価総額 (十億円)	25.353
EV (十億円)	25.471
自己資本比率(9/30)	26.6%
24/3 PER (会予)	8.95x
24/3 EV/EBITDA (会予)	4.1x
23/3 ROE (実績)	24.9%
23/3 PBR (実績)	1.71x
24/3 DY (会予)	4.0%

6ヶ月株価週足



出所：SPEEDAよりSIR作成

クリス・シュライバー アナリスト

research@sessapartners.co.jp

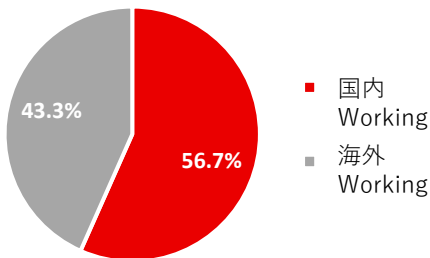
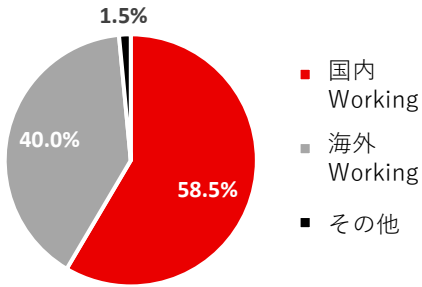


本レポートは株式会社ウィルグループからの委託を受けてSESSAパートナーズが作成しました。詳しくは巻末のディスクレームーをご覧下さい。

FY23/3期 連結売上収益:
143,932百万円 (上グラフ)
FY23/3期 連結営業利益:
5,318百万円 (下グラフ)

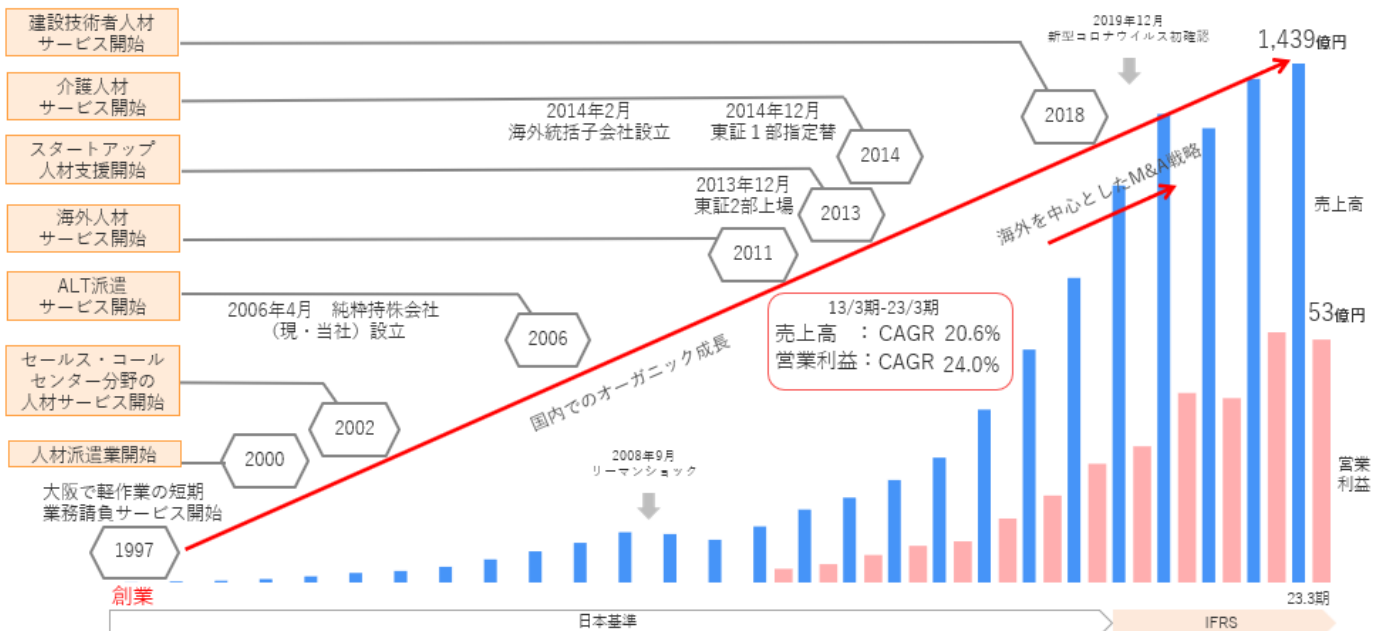


WILL GROUP



● 国別グループ会社数

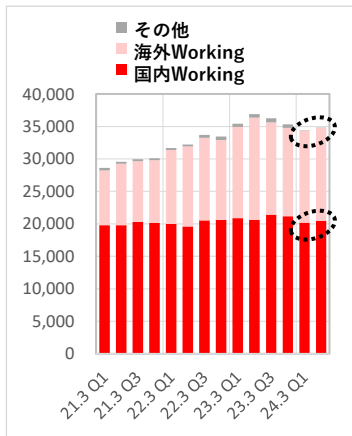
ウィルグループ 沿革と決算の歩み



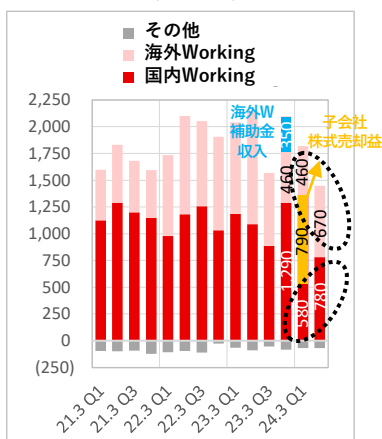
出所: (左上グラフ) 同社決算短信よりSIR作成。(右上及び下図) 同社IR資料より抜粋。

上期決算は前年同期比で減少も、ほぼ計画通りに進捗最注力している建設技術者領域は順調

売上収益 (百万円)



営業利益 (百万円)



出所：決算短信よりSIR作成
注) セグメント営業利益は連結調整前

決算サマリー

▼ ウィルグループは11月8日（水）15:00に24/3期上期連結決算を発表した。売上収益は前年同期比4.3%減、営業利益は同31.2%減、親会社の所有者に帰属する当期利益は同19.6%減であった。ただし、下表右端の2列に示す通り実績と上期会社予想を比較した場合、実績はほぼ予想通りであり、通期予想は据え置かれた。また、連結調整前のセグメント営業利益の四半期推移は左下グラフの通り。1Q国内営業利益1,364百万円から、黄色い棒グラフで示した1Q子会社株式売却益786百万円を除いたベースで比較すると、**両セグメントともに増収増益を達成した**。減益の主要因は、1) 国内Working事業において、採用費及び西日本の一部地域で初のTV-CMを実施した「WILLOF」ブランドプロモーション費等で、1Qに160百万円、2Qに300百万円の先行投資したことによる販管費の増加（10月16日発行「[SESSAフルレポート](#)」25-26頁参照）2) 海外Working事業においては、ポストコロナの人材紹介需要の急激な沈静化に伴い、利益率の高い人材紹介収入が減少した（5頁下段の表3参照）。

▼ KPIの進捗を見ると、最重要課題である建設技術者領域において、上期は過去最高の843名（通期目標1,270名の66%）を採用し、定着率も73%（目標71%）を達成するなど、大きく進捗した。正社員の派遣数を600人増やすという目標については、上期の実績は164人（進捗率27%）だった。ファクトリーアウトソーシングやITエンジニア領域は順調に進捗しているが、セールスアウトソーシング領域においては中途採用が計画より遅れているため、3Q以降は改善を図り、定着率も高めていく。

ウィルグループ 24/3期上期 連結決算サマリー

百万円 %	FY23/3	FY23/3	FY23/3	FY23/3	FY24/3	FY24/3	FY24/3	FY24/3
[IFRS]	1Q 実績	2Q 実績	3Q 実績	4Q 実績	1Q 実績	2Q 実績	1H 実績	1H 予想
連結売上収益	35,441	36,917	36,255	35,318	34,435	34,840	69,276	69,000
YoY	12.4	14.0	7.6	5.5	-2.8	-5.6	-4.3	-4.6
売上総利益	8,033	8,181	7,947	7,573	7,552	7,856	15,408	15,930
売上総利益率(%)	22.7%	22.2%	21.9%	21.4%	21.9%	22.5%	22.2%	23.1%
販売管理費	6,662	6,765	7,090	6,650	7,256	7,021	14,277	-
販管比率(%)	18.8%	18.3%	19.6%	18.8%	21.1%	20.2%	20.6%	-
その他	69	92	75	604	837	54	891	-
営業利益	1,431	1,502	929	1,454	1,132	886	2,019	1,900
YoY	26.0	-3.0	-37.2	11.3	-20.9	-41.0	-31.2	-35.2
営業利益率(%)	4.0%	4.1%	2.6%	4.1%	3.3%	2.5%	2.9%	2.8%
親会社株主に帰属する当期純利益	758	985	534	957	723	679	1,402	1,230
EBITDA	1,967	1,998	1,458	2,032	1,654	1,411	3,066	2,940
売上高比率(%)	5.6%	5.4%	4.0%	5.8%	4.8%	4.0%	4.4%	4.3%
国内Working								
売上収益	20,866	20,658	21,420	21,189	20,186	20,514	40,701	41,100
YoY (%)	5.2	4.5	4.4	2.8	-3.3	-0.7	-2.0	-1.0
営業利益	1,186	1,090	884	1,289	1,364	781	2,146	1,720
YoY (%)	21.4	-7.9	-29.6	25.0	15.0	-28.3	-5.8	-24.5
営業利益率 (%)*	5.7%	5.3%	4.1%	6.1%	6.8%	3.8%	5.3%	4.2%
海外Working								
売上収益	14,042	15,702	14,204	13,589	14,182	14,258	28,440	27,740
YoY (%)	23.0	27.7	11.6	10.4	1.0	-9.2	-4.4	-6.7
営業利益	855	1,058	684	807	456	667	1,123	1,680
YoY (%)	12.6	15.4	-14.1	-7.7	-46.7	-37.0	-41.3	-12.2
営業利益率 (%)*	6.1%	6.7%	4.8%	5.9%	3.2%	4.7%	3.9%	6.1%

出所：同社IRファクトブックよりSIR作成。注*1: 連結調整前。注*2: 海外からの補助金収入は除く。
*注: セグメント連結調整前営業利益率。

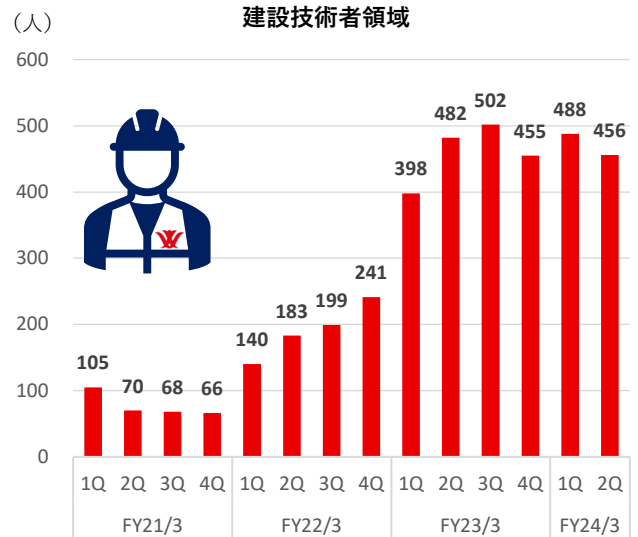
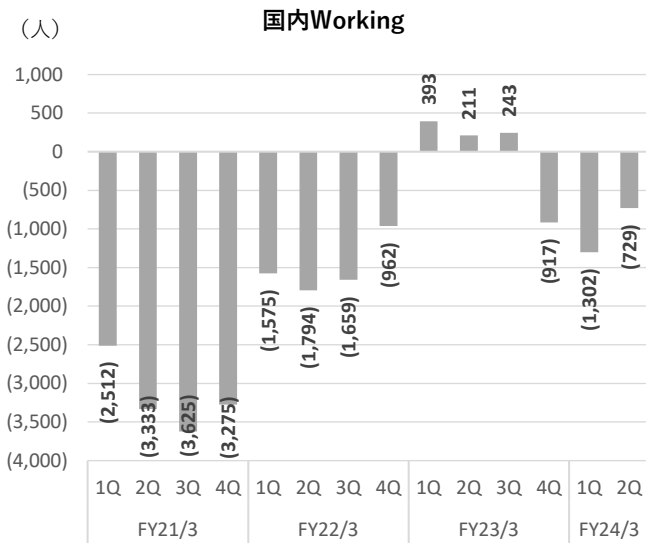
① 国内Working事業 セグメント別補足情報

人、百万円、%	FY21/3				FY22/3				FY23/3				FY24/3	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
四半期末稼働人員数														
国内Working事業	22,723	22,654	22,472	22,266	21,148	20,860	20,813	21,304	21,541	21,071	21,056	20,387	20,239	20,342
・セールスOS	3,673	3,531	3,575	3,697	3,481	3,347	3,383	3,400	3,604	3,481	3,489	3,392	3,485	3,475
・コールセンター	5,259	5,219	5,197	5,235	5,127	5,082	5,208	5,315	5,113	5,089	5,125	4,892	4,414	4,359
・ファクトリーOS	8,015	8,170	7,955	7,495	6,738	6,550	6,128	6,394	6,503	6,100	6,166	5,925	5,884	5,868
・介護	5,226	5,188	5,169	5,226	5,112	5,152	5,319	5,341	5,241	5,195	5,008	4,875	4,880	4,973
・建設技術者	550	546	576	613	690	729	775	854	1,088	1,211	1,277	1,309	1,576	1,667
YoY														
国内Working事業	-10.0	-12.8	-13.9	-12.8	-6.9	-7.9	-7.4	-4.3	1.9	1.0	1.2	-4.3	-6.0	-3.5
・セールスOS	-21.1	-25.3	-25.2	-15.8	-5.2	-5.2	-5.4	-8.0	3.5	4.0	3.1	-0.2	-3.3	-0.2
・コールセンター	-3.9	-11.0	-10.2	-10.3	-2.5	-2.6	0.2	1.5	-0.3	0.1	-1.6	-8.0	-13.7	-14.3
・ファクトリーOS	-21.2	-19.1	-21.6	-19.8	-15.9	-19.8	-23.0	-14.7	-3.5	-6.9	0.6	-7.3	-9.5	-3.8
・介護	16.4	7.7	5.9	-3.7	-2.2	-0.7	2.9	2.2	2.5	0.8	-5.8	-8.7	-6.9	-4.3
・建設技術者	23.6	14.7	13.4	12.1	25.5	33.5	34.5	39.3	57.7	66.1	64.8	53.3	44.9	37.7
領域別売上														
国内Working事業	19,781	19,814	20,301	20,153	19,832	19,762	20,518	20,612	20,866	20,658	21,421	21,189	20,187	20,514
・セールスOS	4,462	4,696	4,824	5,064	4,767	4,625	4,860	5,265	5,078	5,019	5,137	5,161	4,886	4,885
・コールセンター	4,222	4,190	4,243	4,211	4,220	4,216	4,334	4,271	4,154	4,130	4,221	4,078	3,884	3,753
・ファクトリーOS	5,390	5,163	5,199	4,833	4,698	4,594	4,642	4,381	4,472	4,404	4,410	4,353	4,449	4,474
・介護	3,317	3,323	3,297	3,281	3,325	3,396	3,537	3,420	3,526	3,407	3,402	3,285	3,312	3,339
・スタートアップ人材支援	300	304	267	402	526	569	537	717	709	729	769	792	730	879
・建設技術者	1,297	1,299	1,311	1,368	1,337	1,405	1,475	1,569	1,652	1,862	2,040	2,111	2,347	2,587
・その他	793	839	1,160	994	959	957	1,133	989	1,275	1,107	1,442	1,409	579	597
YoY														
国内Working事業	-1.0	-8.9	-6.1	-4.5	0.3	-0.3	1.1	2.3	5.2	4.5	4.4	2.8	-3.3	-0.7
・セールスOS	-17.2	-26.5	-16.4	-9.6	6.8	-1.5	0.7	4.0	6.5	8.5	5.7	-2.0	-3.8	-2.7
・コールセンター	9.2	1.1	-0.5	0.7	0.0	0.6	2.1	1.4	-1.6	-2.0	-2.6	-4.5	-6.5	-9.1
・ファクトリーOS	-7.4	-14.8	-15.5	-15.4	-12.8	-11.0	-10.7	-9.4	-4.8	-4.1	-5.0	-0.6	-0.5	1.6
・介護	19.0	12.0	6.1	2.8	0.2	2.2	7.3	4.2	6.0	0.3	-3.8	-3.9	-6.1	-2.0
・スタートアップ人材支援	14.9	-8.7	-13.9	12.0	75.3	87.2	101.1	78.4	34.8	28.1	43.2	10.5	3.0	20.6
・建設技術者	18.0	12.4	6.9	3.2	3.1	8.2	12.5	14.7	23.6	32.5	38.3	34.5	42.1	38.9
・その他	3.9	22.3	46.3	38.6	20.9	14.1	-2.3	-0.5	33.0	15.7	27.3	42.5	-54.6	-46.1
領域別営業利益*														
国内Working事業	1,152	1,386	1,086	1,087	1,144	1,148	1,326	1,207	1,234	1,299	820	1,382	664	808
・セールスOS	263	456	384	365	404	327	421	462	464	441	371	442	282	284
・コールセンター	322	280	259	270	286	278	307	305	234	254	230	218	152	114
・ファクトリーOS	254	281	218	248	373	284	348	253	287	255	180	226	222	180
・介護	175	102	63	41	60	96	101	39	115	102	122	159	78	48
・スタートアップ人材支援	45	54	-10	70	142	176	131	155	190	197	-205	86	102	204
・建設技術者	57	35	-25	-28	-207	-121	-129	-102	-273	-147	-85	7	-273	-59
・その他	36	178	197	121	86	108	147	95	217	197	207	244	101	37
領域別営業利益率*														
国内Working事業	5.8%	7.0%	5.3%	5.4%	5.8%	5.8%	6.5%	5.9%	5.9%	6.3%	3.8%	6.5%	3.3%	3.9%
・セールスOS	5.9%	9.7%	8.0%	7.2%	8.5%	7.1%	8.7%	8.8%	9.1%	8.8%	7.2%	8.6%	5.8%	5.8%
・コールセンター	7.6%	6.7%	6.1%	6.4%	6.8%	6.6%	7.1%	7.1%	5.6%	6.2%	5.4%	5.3%	3.9%	3.0%
・ファクトリーOS	4.7%	5.4%	4.2%	5.1%	7.9%	6.2%	7.5%	5.8%	6.4%	5.8%	4.1%	5.2%	5.0%	4.0%
・介護	5.3%	3.1%	1.9%	1.2%	1.8%	2.8%	2.9%	1.1%	3.3%	3.0%	3.6%	4.8%	2.4%	1.4%
・スタートアップ人材支援	15.0%	17.8%	-3.7%	17.4%	27.0%	30.9%	24.4%	21.6%	26.8%	27.0%	-26.7%	10.9%	14.0%	23.2%
・建設技術者	4.4%	2.7%	-1.9%	-2.0%	-15.5%	-8.6%	-8.7%	-6.5%	-16.5%	-7.9%	-4.2%	0.3%	-11.6%	-2.3%
・その他	4.5%	21.2%	17.0%	12.2%	9.0%	11.3%	13.0%	9.6%	17.0%	17.8%	14.4%	17.3%	17.4%	6.2%

出所：同社IRファクトブックよりSIR作成 注：*セグメント内の連結調整は含まず



② 稼働人員数（四半期末）



出所：同社IRファクトブックよりSIR作成

③ 海外Working事業 地域別売上収益、国内・海外契約形態別売上収益

百万円、%	FY21/3				FY22/3				FY23/3				FY24/3	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
海外地域別セグメント														
海外Working	8,457	9,444	9,368	9,649	11,417	12,292	12,723	12,313	14,042	15,702	14,204	13,589	14,182	14,258
・オーストラリア	7,181	7,972	7,627	7,769	9,147	9,813	10,016	9,221	10,668	12,098	10,770	9,893	10,504	10,220
・アジア	1,276	1,472	1,741	1,880	2,270	2,479	2,707	3,092	3,374	3,605	3,435	3,696	3,678	4,039
YoY														
海外Working	-7.1	1.8	3.7	9.9	35.0	30.2	35.8	27.6	23.0	27.7	11.6	10.4	1.0	-9.2
・オーストラリア	0.0	9.2	8.7	16.4	27.4	23.1	31.3	18.7	16.6	23.3	7.5	7.3	-1.5	-15.5
・アジア	-33.6	-25.5	-13.7	-10.8	77.9	68.4	55.5	64.5	48.6	45.4	26.9	19.5	9.0	12.0
契約形態別売上														
国内	20,178	20,086	20,559	20,480	20,136	20,079	20,963	21,159	21,399	21,214	22,052	21,728	20,253	20,582
・人材派遣	10,676	11,682	10,886	10,388	10,419	10,591	10,963	10,522	11,184	11,200	11,912	12,152	11,338	11,653
・ハイブリッド派遣	4,195	3,000	4,026	4,106	3,992	3,759	3,850	3,745	3,497	3,200	3,000	2,500	2,724	2,664
・業務請負	3,329	3,588	3,696	3,727	3,661	3,689	3,941	4,049	4,165	4,125	4,267	4,188	4,069	3,957
・人材紹介	659	550	478	620	782	781	778	881	1,043	1,029	964	1,026	1,126	1,138
・その他	1,319	1,266	1,473	1,639	1,282	1,259	1,431	1,962	1,510	1,660	1,909	1,862	996	1,170
海外	8,458	9,452	9,361	9,675	11,417	12,292	12,723	12,314	14,042	15,702	14,205	13,589	14,181	14,259
・人材派遣	7,770	8,578	8,367	8,521	9,737	10,432	10,939	10,330	11,918	13,356	12,267	11,746	12,227	12,216
・人材紹介	680	856	994	1,119	1,680	1,860	1,784	1,984	2,124	2,346	1,878	1,831	1,933	2,031
YoY														
国内	-0.6	-9.1	-6.6	-4.3	-0.2	0.0	2.0	3.3	6.3	5.7	5.2	2.7	-5.4	-3.0
・人材派遣	8.3	12.1	-2.1	-3.3	-2.4	-9.3	0.7	1.3	7.3	5.8	8.7	15.5	1.4	4.0
・ハイブリッド派遣	-11.1	-36.9	-13.7	-10.3	-4.8	25.3	-4.4	-8.8	-12.4	-14.9	-22.1	-33.2	-22.1	-16.8
・業務請負	-8.7	-6.3	0.0	2.6	10.0	2.8	6.6	8.6	13.8	11.8	8.3	3.4	-2.3	-4.1
・人材紹介	10.0	-18.9	-13.1	19.7	18.7	42.0	62.8	42.1	33.4	31.8	23.9	16.5	8.0	10.6
・その他	-10.5	-47.4	-25.4	-15.0	-2.8	-0.6	-2.9	19.7	17.8	31.9	33.4	-5.1	-34.0	-29.5
海外	-7.0	2.1	3.6	10.7	35.0	30.0	35.9	27.3	23.0	27.7	11.6	10.4	1.0	-9.2
・人材派遣	-1.7	5.1	8.0	12.5	25.3	21.6	30.7	21.2	22.4	28.0	12.1	13.7	2.6	-8.5
・人材紹介	-41.8	-20.9	-19.1	-3.7	147.1	117.3	79.5	77.3	26.4	26.1	5.3	-7.7	-9.0	-13.4

出所：同社IRファクトブックよりSIR作成

WILL GROUP

主要KPIの推移

同社は11月20日(月)午前9時から代表取締役社長 角 裕一氏による中間決算説明会を開催。建設技術者領域においては、1Qに新卒社員の採用人数が過去最高を記録したことに続き、2Qも中途採用ペースで大幅に増加しており、右3番目のグラフに示す稼働人数は引き続き高い伸びを示した。

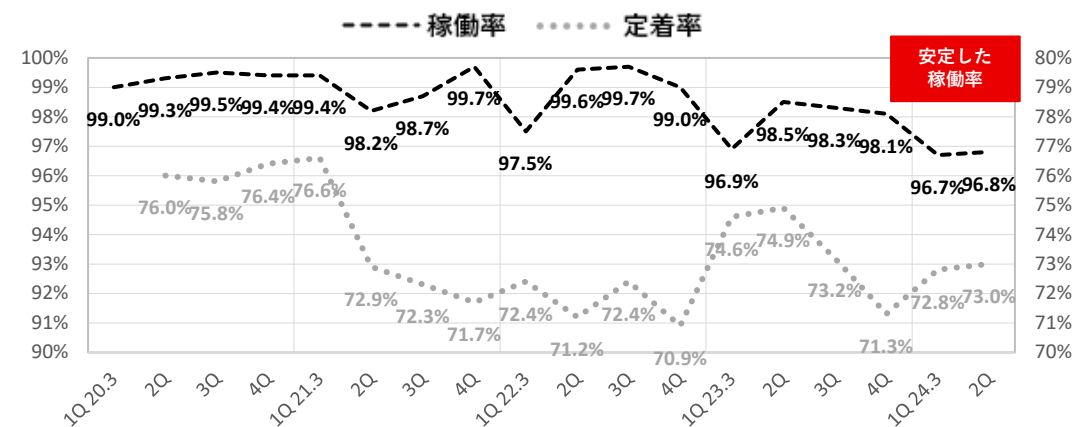
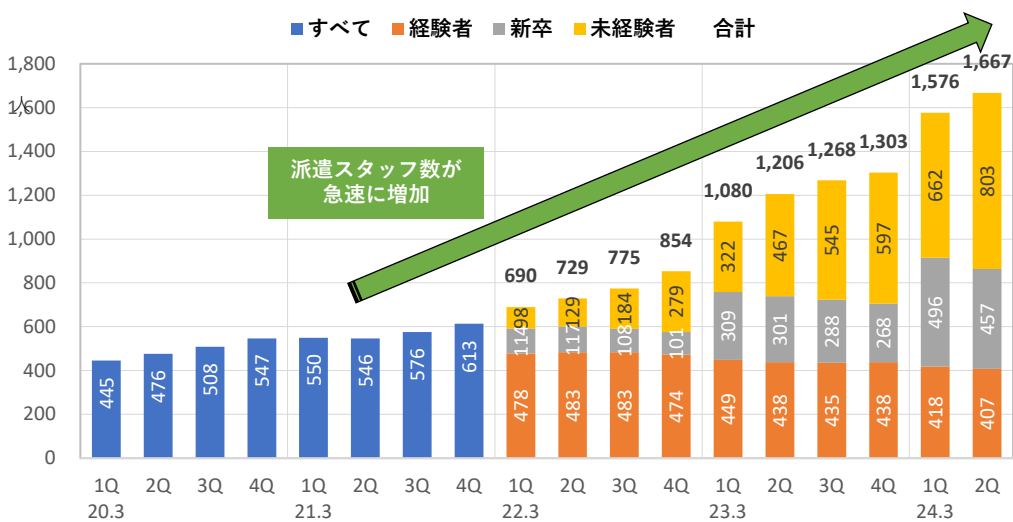
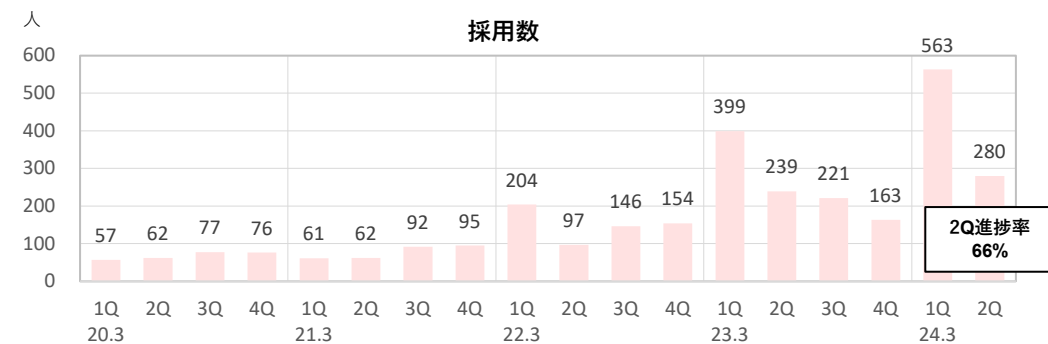
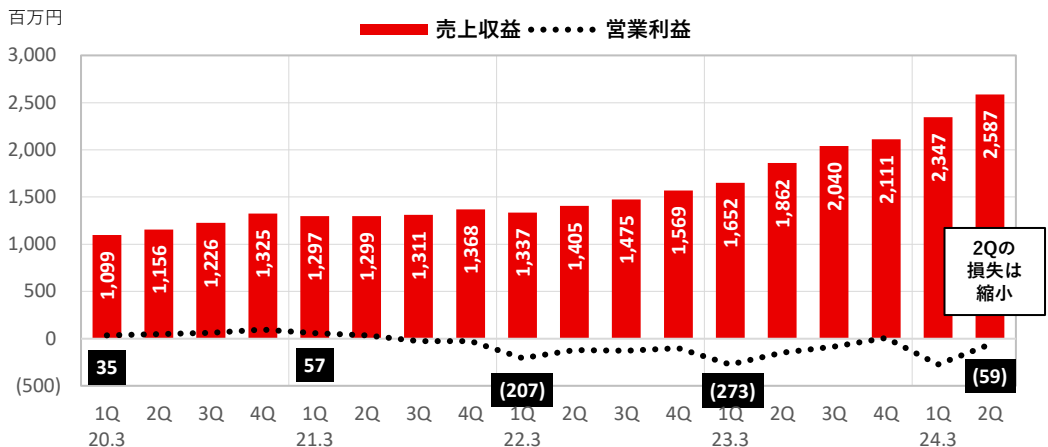
3年前までは、熟練した技術を持つ経験者をメインで派遣していたため、高稼働率を維持しやすかったが、この2年間で1,000名以上の未経験者を採用した上でも、しっかりと高い稼働率をキープしている。



建設技術者の派遣数は過去3年間で3倍に増加

このデータから読み取れるのは、新規採用が過去3年間で9倍に増え(24/3期目標1,270人に対する進捗率は66%)、派遣者数が3倍に増えたにもかかわらず、稼働率(派遣者数の割合)は安定しており、定着率も安定している。

建設技術者領域の売上収益と営業利益の推移



WILL GROUP

正社員派遣の稼働状況

24/3期の目標600名増に対し、2Qは164名と27%の進捗。セールスアウトソーシング領域は中途採用が伸び悩み、計画を下回った。主要な通信領域の顧客からの受注が1Qと2Qで低調だったことも要因の一つであり、下期は年末から来春に向けての商戦期に通信・販売両部門からの受注を着実に確保することに注力する。

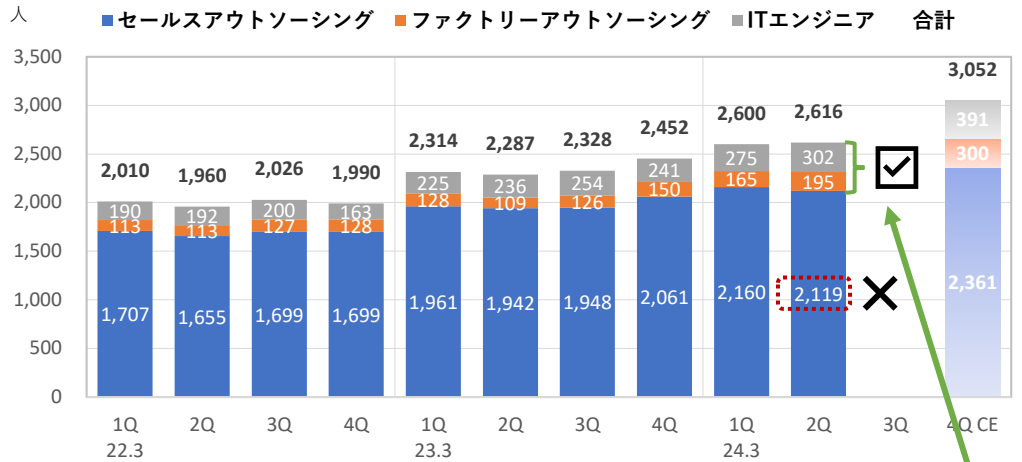


外国人雇用管理受託

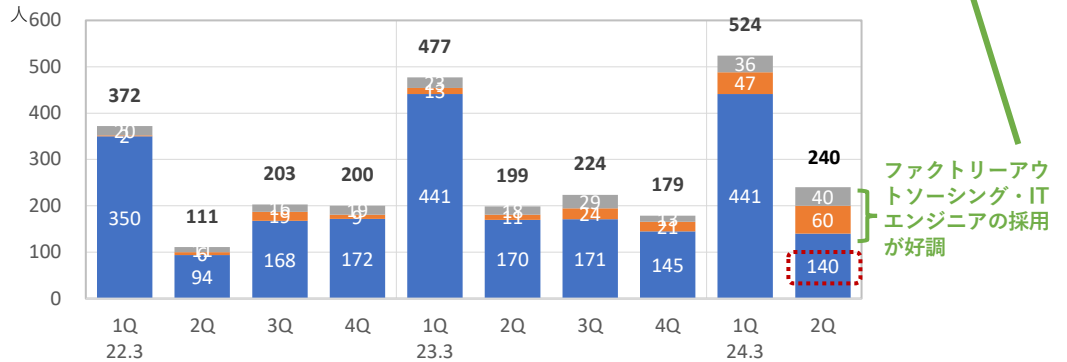
外国人管理委託数1,100名増の24/3期目標に対し、2Qは136名増で進捗率は12.4%と計画未達。介護領域は順調に増加したが、ファクトリーアウトソーシング領域では従来のように新規顧客を獲得することは困難になってきている。

近年、ウィルグループはファクトリーアウトソーシング領域の既存顧客に対して管理受託をアップセルで開拓してきた。しかし、外国人雇用管理受託市場は、既存の契約関係が存在しており、ウィルグループはパートナー契約の切り替え提案に苦戦している。また、新規導入プロセスについても、営業方法を見直し、効果的なアプローチを模索している。

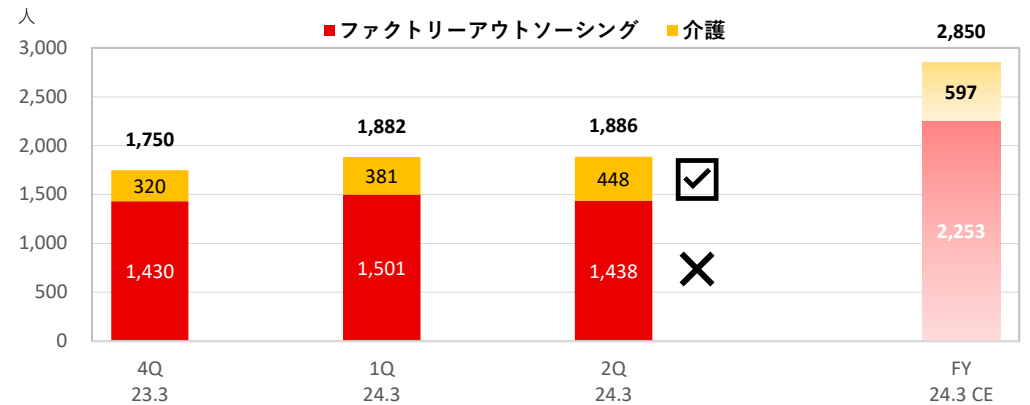
正社員派遣の進捗 (グラフ上：派遣者数、グラフ下：新規採用数)



セールスアウトソーシング ファクトリーアウトソーシング ITエンジニア

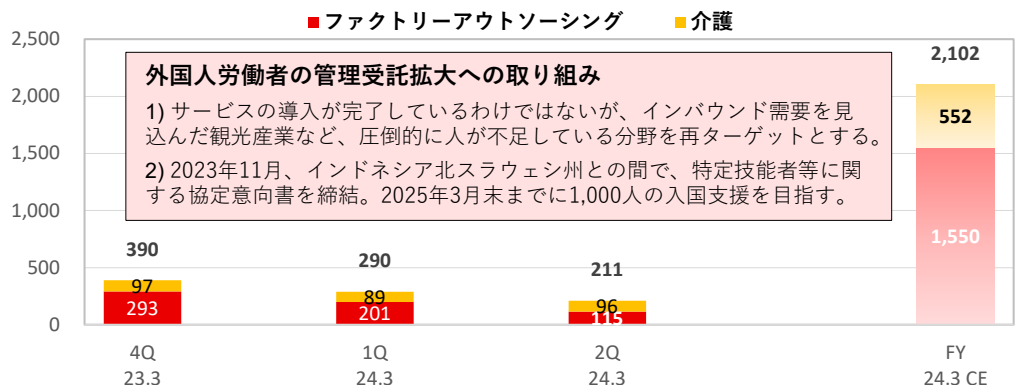


外国人管理受託 (グラフ上：管理数、グラフ下：新規数)



外国人労働者の管理受託拡大への取り組み

- 1) サービスの導入が完了しているわけではないが、インバウンド需要を見込んだ観光産業など、圧倒的に人が不足している分野を再ターゲットとする。
- 2) 2023年11月、インドネシア北スラウェシ州との間で、特定技能者等に関する協定意向書を締結。2025年3月末までに1,000人の入国支援を目指す。



WILL GROUP



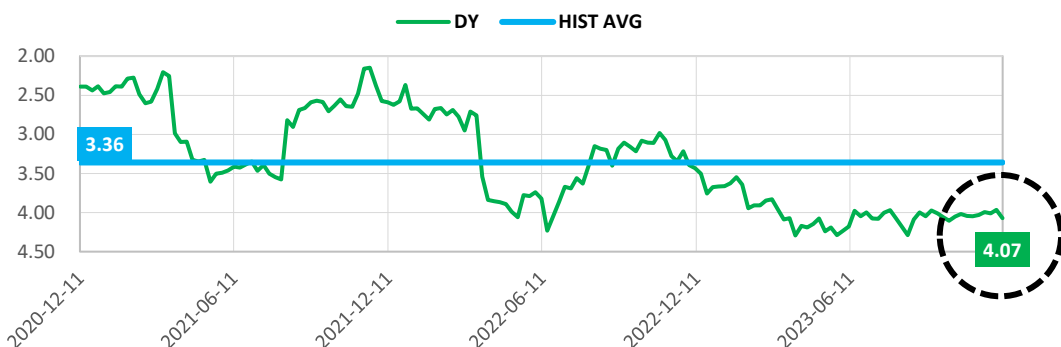
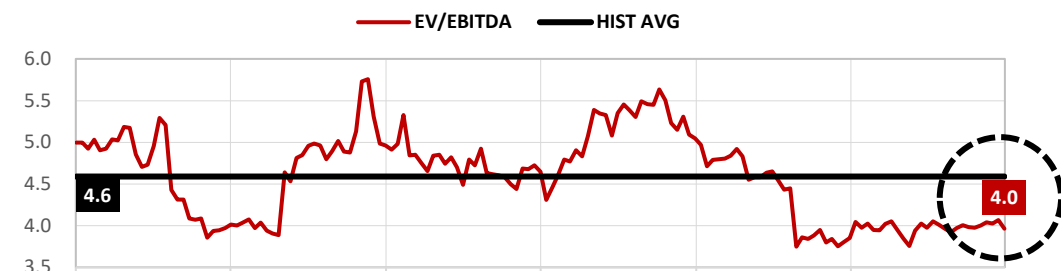
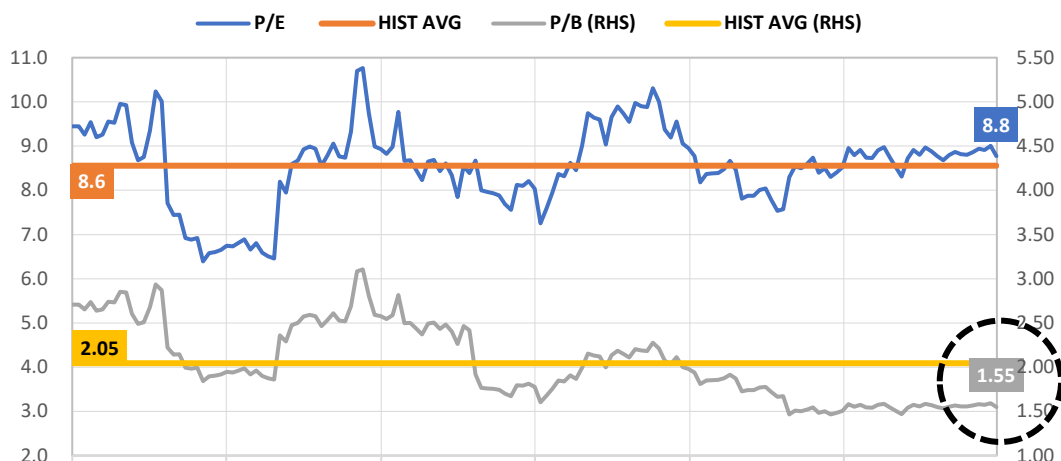
パフォーマンスとバリュエーション:
SESSAスマートチャート

- ✓ 現在のPERは過去平均に近い水準で取引されているが、PBRは過去平均を24%、EV/EBITDAは同14%、それぞれ下回っている。
- ✓ 配当利回りは4.07%で、過去平均を21%上回っている。
- ✓ 次頁の相対株価チャートを見ると、先行投資による24/3期の収益低迷を反映し、株価がTOPIXに対して約22%遅れていることが分かる。
- ✓ 新しい中期計画には当初2年間の先行投資が織り込まれているが、新たなM&Aによる影響は含まれていない。SIRは現在の4.0%の配当利回りには投資家が次の成長カタリストを待つだけの価値があると考えている。



アナリストの見解

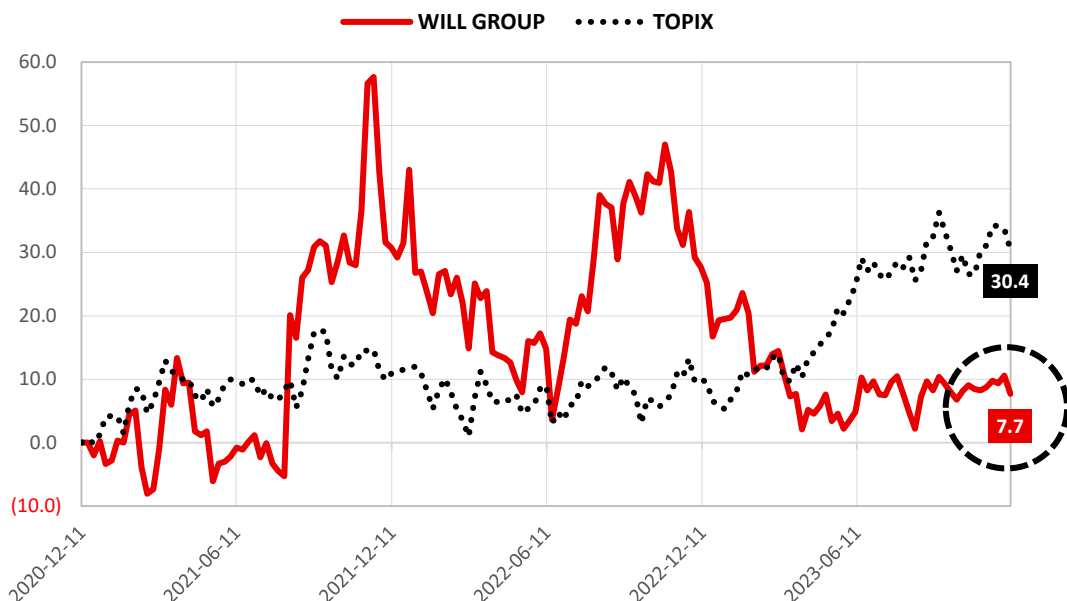
SESSA Smart Charts: 3年週足株価チャート、バリュエーション推移



出所：SPEEDAデータよりSIR作成。FY24/3期のバリュエーションはLTMと会社計画値に基づく

WILL GROUP

3年間週足相対パフォーマンス



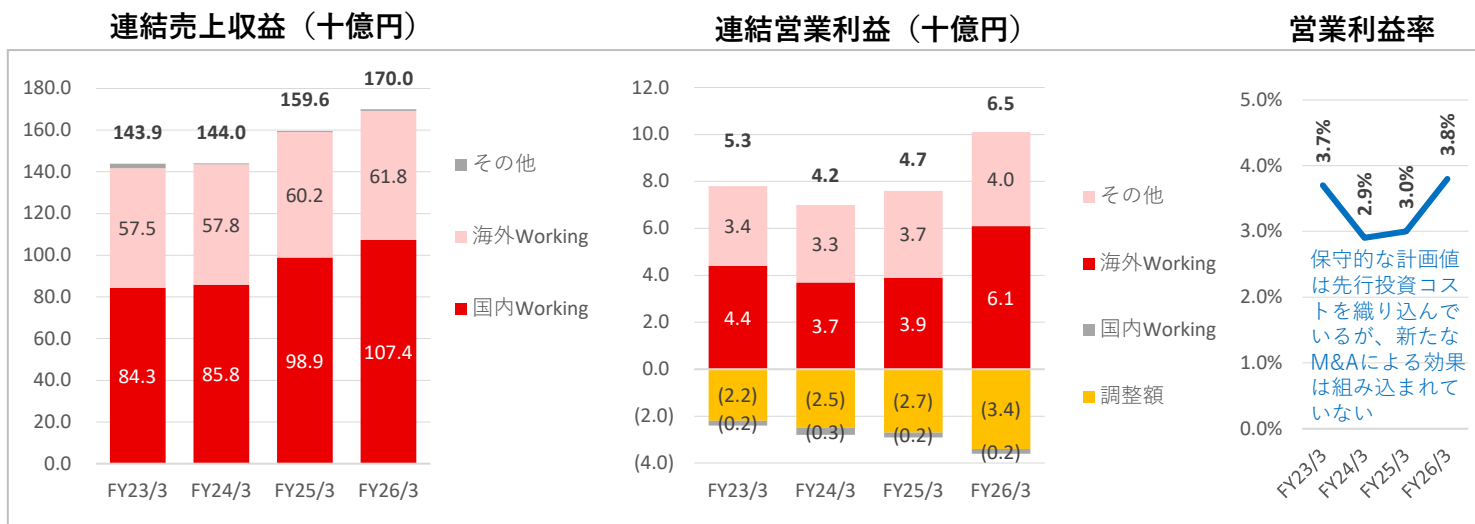
出所：SPEEDAデータよりSIR作成。



新中期経営計画での株主還元方針

従来の利益配分方針は、配当と自己株式取得を含めたトータル・リターン方式を採用し、連結配当性向30%を目標としていた。新中期経営計画「WILL-being 2026」では、国内事業の自律的な再成長に向けて戦略的に販管費35億円を増額し、加えてM&Aに100億円投入するため最初の2年間は減益を織り込んでいる。ただし、新中期計画には新たな M&A による影響は含まれていない。SIR は現在の 4.0%の配当利回りには、投資家が次の成長カタリストを待つだけの投資価値があると考えている。

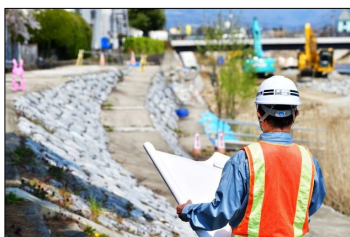
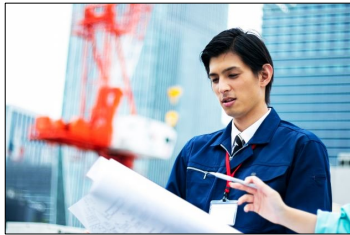
ウィルグループ中期経営計画「WILL-being 2026」(FY24/3 – FY26/3)



出所：同社中期経営計画資料よりSIR作成



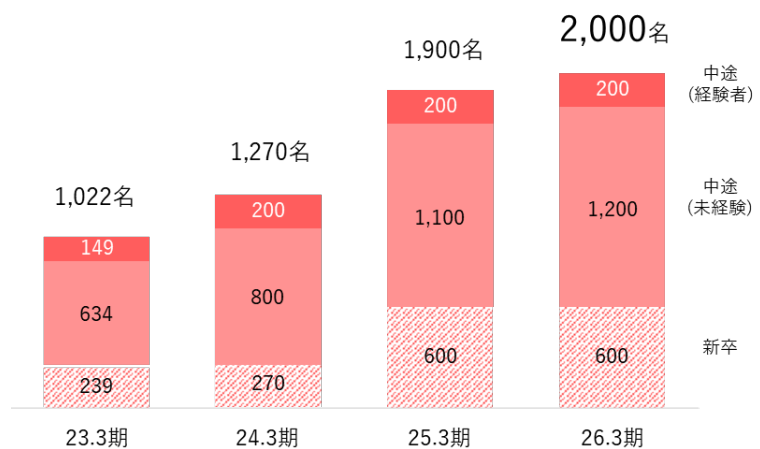
重点戦略①
建設技術者
事業



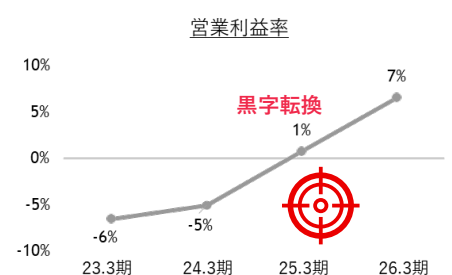
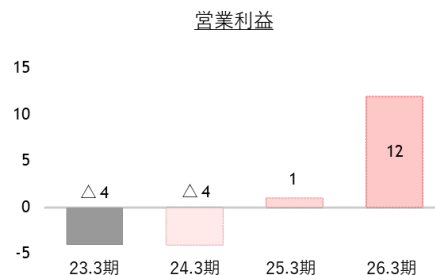
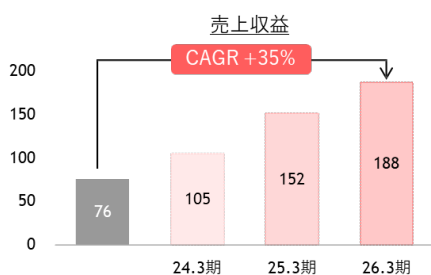
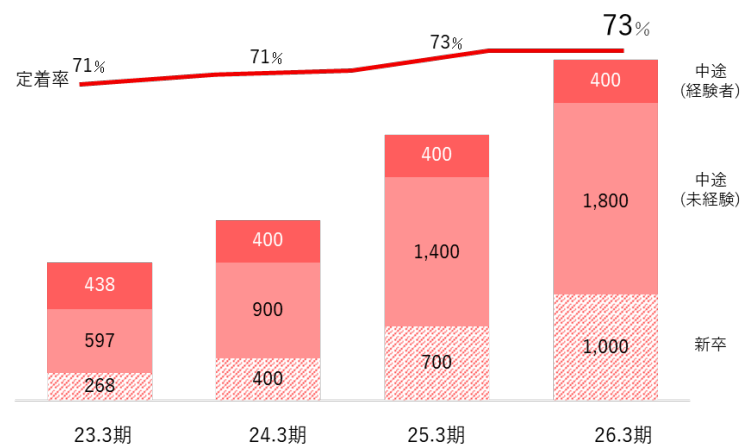
採用人数を倍増し、建設技術者領域を黒字化へ

▼ 注目すべき点は、1)建設技術者事業が23/3期4Qに黒字化したことと、2)新しくウィルグループ社長に就任した角裕一氏が、その前に株式会社ウィルオブ・コンストラクションの代表取締役社長を務めていた点である。 KPIは、1)主に未経験者社員採用数（新卒+中途）を倍増。2)派遣後のフォローを密にするなどにより定着率を2ptアップの73%に高めることである。

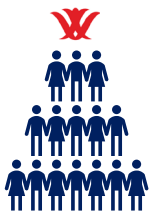
採用人数



稼働人数+定着率



出所：同社中期経営計画説明資料より抜粋。



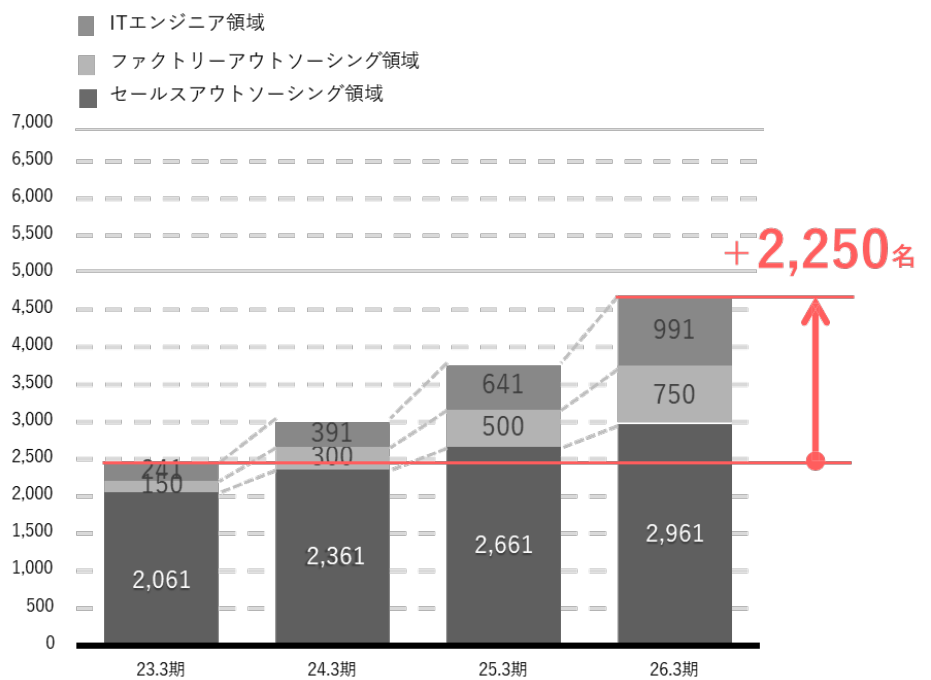
重点戦略②
正社員派遣と外国人労働者管理受託



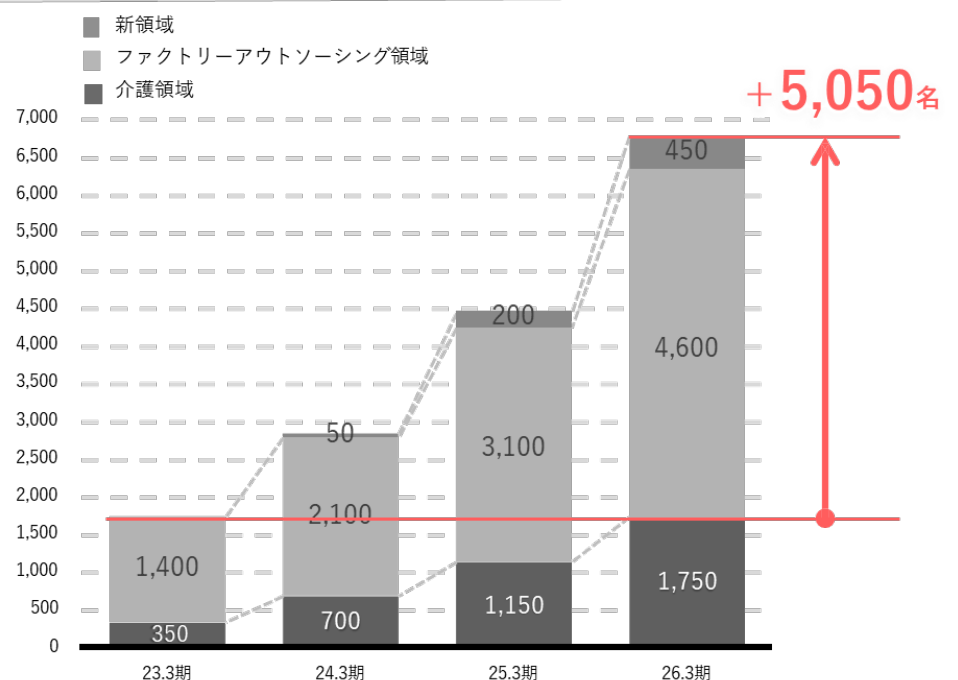
正社員派遣と外国人労働者管理受託の増加

▼ 国内Working事業（建設技術者領域以外）の再成長に向けて、正社員派遣と外国人労働管理受託の増加を目標にしている。正社員派遣については、ウィルグループは建設技術者と同様にセールス、ファクトリー、ITエンジニアの領域で新卒・未経験者の採用を積極的に行っていく。また、外国人労働者管理受託人数を増加させるために、営業人員を増員して新規受注を獲得する。加えて「WILLOF」ブランドの促進に年間3~5億円を費やし採用力を強化する。

正社員派遣稼働人数推移 (名)



外国人管理受託人数推移 (名)



出所：同社中期経営計画説明資料より抜粋



資本投下はオーガニック成長とM&Aへ戦略的投資

▼ 新中期経営計画において投資方針の優先事項として、1)国内Working事業のオーガニック成長を再始動させるために、販管費として35億円を計上する。2)M&A投資を再開し、新規M&Aに100億円を計画。絞り込んだ対象分野のリストと財務規律は以下の通りである。「累進」配当が加わった新しい株主還元方針については32頁に記載。

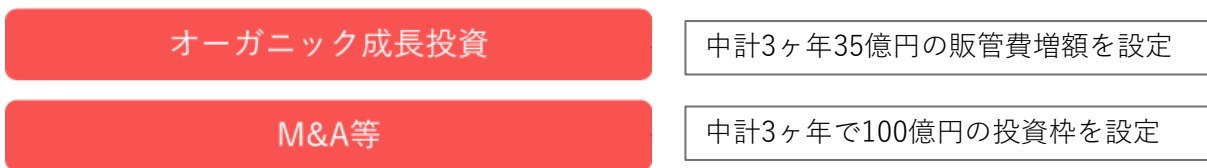
WILL-being2026ではターゲットの絞り込みと資金調達ルールを策定、M&A再開に100億円を計画

領域 | ■ M&Aターゲット 資本提携ターゲット



■ M&A方針

ターゲット	『働く人をエキスパートにしていくキャリアパスの最大化と最適化』との整合性を重視しながら、ウィルグループの成長を加速できる領域且つ 将来の営業利益率目標に貢献できる企業。		
プロセス	<p>IT・建設・製造 技術者 人材事業</p>	<p>エキスパートへの職種拡大が 見込める紹介事業</p>	<p>教育研修事業</p>
財務規律	<ul style="list-style-type: none"> 担当領域責任者 及び PMI担当者による初期段階から関与。 当社の過去M&Aプロセスの遂行による透明性を確保。 		
ガバナンス	<ul style="list-style-type: none"> M&A資金は、フリーC/F、借入の順番とする。 当社の資本コスト (WACC: 9%) を上回るROICを少なくとも達成。(買収時における適切な価格の設定) 		
	<ul style="list-style-type: none"> シナジー創出の為にマネジメント強化、投資時の買収計画に対するモニタリング等を通じて、適切なガバナンスを実施。 		



出所：同社中期経営計画説明資料より抜粋

LEGAL DISCLAIMER

ディスクレーマー／免責事項

本レポートは対象企業についての情報を提供することを目的としており投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載されたデータ・情報は弊社が信頼できると判断したのですが、その信憑性、正確性等について一切保証するものではありません。

本レポートは当該企業からの委託に基づきSESSAパートナーズが作成し、対価として報酬を得ています。SESSAパートナーズの役員・従業員は当該企業の発行する有価証券について売買等の取引を行っているか、または将来行う可能性があります。そのため当レポートに記載された予想や分析は客観性を伴わないことがあります。本レポートの使用に基づいた商取引からの損失についてSESSAパートナーズは一切の責任を負いません。当レポートの著作権はSESSAパートナーズに帰属します。当レポートを修正・加工したり複製物の配布・転送は著作権の侵害に該当し固く禁じられています。



SESSAパートナーズ株式会社

東京都港区麻布十番2-8-14 i-o Azabu 5a
info@sessapartners.co.jp